



## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 北川精機株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6327 URL <https://kitagawaseiki.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 西田 圭司 TEL 0847-40-1200  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,317	49.4	451	129.1	446	145.0	374	152.0
2023年6月期第2四半期	2,220	9.1	197	5.9	182	4.3	148	2.5

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 370百万円 (143.3%) 2023年6月期第2四半期 152百万円 (△4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	52.72	—
2023年6月期第2四半期	21.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	7,856	3,833	48.8
2023年6月期	8,940	3,502	39.2

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 3,833百万円 2023年6月期 3,502百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△7.2	760	3.3	740	△8.0	620	△11.8	87.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	7,649,600株	2023年6月期	7,649,600株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	531,912株	2023年6月期	551,089株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	7,105,497株	2023年6月期2Q	7,075,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されたことにより経済活動の正常化が進みました。一方、不安定な国際情勢や円安を背景に、資源・エネルギー価格高騰の影響が残るなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画「持続的進化への挑戦 ～ 社会と共に成長する強いK I T A G A W A ～」の最終年度に入り、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に市場の動きを捉えて収益機会を確実に獲得するとともに、将来に向けて持続可能な成長基盤を堅固なものとするを目標として、引き続き3つの重点項目「既存事業での技術的深化と新規事業への経営資源集中による持続的成長の岩盤造り」「市場拡大に合わせた生産能力増強と収益性・競争力・製品/サービス品質向上の両立」「活力溢れる強い組織作りとそれを支えるデジタル化の推進」に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,317百万円（前年同四半期比49.4%増）、営業利益451百万円（前年同四半期比129.1%増）、経常利益446百万円（前年同四半期比145.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益374百万円（前年同四半期比152.0%増）となりました。

なお、当社グループの主要製品は、案件毎に個別の仕様に基づいて設計・製造を行うため、納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに長期間を要し、四半期単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (産業機械事業)

前連結会計年度は第3四半期連結会計期間以降に売上が集中しておりましたが、当連結会計年度は特定の四半期に納期が集中しておらず、当第2四半期連結累計期間においては、銅張積層板・多層基板成形用のプレス装置、自動車部品成形用プレス装置、搬送機械の売上が計画どおり順調に推移し、売上高3,246百万円（前年同四半期比52.5%増）、当セグメントの通期売上計画に対する進捗率55.4%となりました。利益面は売上高の増加に加え製造原価低減への取り組みの効果もあり、営業利益446百万円（前年同四半期比142.9%増）となりました。

#### (その他)

主要販売先への油圧機器の売上が減少したため、売上高71百万円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益3百万円（前年同四半期比68.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,856百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,084百万円の減少となりました。増加の主なもの、現金及び預金222百万円、減少の主なものは、電子記録債権653百万円、仕掛品616百万円であります。

##### (負債)

負債合計は4,022百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,415百万円の減少となりました。これは主に、電子記録債務251百万円、契約負債885百万円、その他流動負債242百万円の減少であります。

##### (純資産)

純資産合計は3,833百万円となり、前連結会計年度末に比べて331百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益374百万円の計上によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,720百万円となり、前連結会計年度末に比べて222百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は363百万円（前年同四半期は300百万円の使用）となりました。収入の主なものは、税金等調整前四半期純利益446百万円、売上債権の減少額584百万円、棚卸資産の減少額617百万円、支出の主なものは、仕入債務の減少額232百万円、契約負債の減少額885百万円、未払金の減少額221百万円であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は21百万円（前年同四半期は38百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出17百万円であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は117百万円（前年同四半期は103百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出60百万円、配当金の支払額56百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期業績予想につきましては、2023年8月18日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2024年1月16日公表の「2024年6月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,498,018	2,720,777
受取手形、売掛金及び契約資産	1,667,172	1,736,652
電子記録債権	713,077	59,263
商品及び製品	428	1,244
仕掛品	1,684,389	1,067,850
原材料及び貯蔵品	188,250	186,543
その他	140,807	67,506
貸倒引当金	△58,189	△56,283
流動資産合計	6,833,956	5,783,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	616,288	601,577
土地	962,660	962,660
その他(純額)	217,653	204,706
有形固定資産合計	1,796,602	1,768,944
無形固定資産	22,511	21,660
投資その他の資産		
その他	297,514	292,178
貸倒引当金	△9,790	△9,790
投資その他の資産合計	287,724	282,388
固定資産合計	2,106,839	2,072,993
資産合計	8,940,795	7,856,548
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,017	339,713
電子記録債務	909,507	658,021
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	121,416	121,416
契約負債	1,727,531	841,901
未払法人税等	100,445	89,957
賞与引当金	23,583	24,459
製品保証引当金	30,500	36,300
その他	354,119	111,895
流動負債合計	4,588,120	3,223,665
固定負債		
長期借入金	441,713	381,005
役員退職慰労引当金	3,105	3,436
退職給付に係る負債	402,101	411,369
その他	3,559	3,450
固定負債合計	850,478	799,261
負債合計	5,438,598	4,022,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	658,213	664,716
利益剰余金	2,752,684	3,070,521
自己株式	△308,231	△297,512
株主資本合計	3,402,666	3,737,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,214	72,758
為替換算調整勘定	23,314	23,138
その他の包括利益累計額合計	99,529	95,896
純資産合計	3,502,196	3,833,621
負債純資産合計	8,940,795	7,856,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,220,204	3,317,996
売上原価	1,733,079	2,550,352
売上総利益	487,124	767,644
販売費及び一般管理費	289,893	315,864
営業利益	197,230	451,779
営業外収益		
受取利息	424	189
受取配当金	932	703
受取保険金	137	2,836
作業くず売却益	1,692	2,061
従業員受取家賃	1,491	2,183
その他	555	861
営業外収益合計	5,233	8,836
営業外費用		
支払利息	9,473	8,061
為替差損	10,804	6,241
その他	19	37
営業外費用合計	20,296	14,340
経常利益	182,168	446,275
税金等調整前四半期純利益	182,168	446,275
法人税等	33,503	71,649
四半期純利益	148,665	374,625
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,665	374,625

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	148,665	374,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,495	△3,456
為替換算調整勘定	△7,685	△176
その他の包括利益合計	3,810	△3,633
四半期包括利益	152,475	370,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,475	370,991

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	182,168	446,275
減価償却費	38,811	46,513
株式報酬費用	4,171	8,481
賞与引当金の増減額(△は減少)	876	875
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,599	9,267
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	324	331
製品保証引当金の増減額(△は減少)	900	5,800
貸倒引当金の増減額(△は減少)	48	△1,906
受取利息及び受取配当金	△1,356	△893
支払利息	9,473	8,061
為替差損益(△は益)	1,954	2,284
売上債権の増減額(△は増加)	△54,413	584,229
棚卸資産の増減額(△は増加)	△965,102	617,418
仕入債務の増減額(△は減少)	77,069	△232,780
前渡金の増減額(△は増加)	14,055	97,030
契約負債の増減額(△は減少)	550,639	△885,666
未払金の増減額(△は減少)	△49,388	△221,459
未払費用の増減額(△は減少)	△5,351	△9,110
未収消費税等の増減額(△は増加)	△52,451	△20,243
その他	△1,499	△5,163
小計	△237,470	449,345
利息及び配当金の受取額	1,356	893
利息の支払額	△8,762	△7,491
法人税等の支払額	△55,738	△79,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	△300,614	363,296
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,951	△17,311
有形固定資産の売却による収入	46	370
無形固定資産の取得による支出	△2,373	△3,014
投資有価証券の取得による支出	△1,328	△1,194
その他	△46	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,652	△21,159
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△60,708	△60,708
配当金の支払額	△42,379	△56,544
自己株式の取得による支出	—	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,087	△117,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,778	△2,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△451,134	222,758
現金及び現金同等物の期首残高	2,609,561	2,498,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,158,427	2,720,777

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株予約権の発行)

当社は、2024年1月16日及び1月22日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権（以下「本新株予約権」という。）の発行を決議し、2024年2月6日に本新株予約権の発行価額の総額の払込が完了しております。

## 1. 本新株予約権の概要

① 割当日	2024年2月6日
② 新株予約権の総数	10,000個
③ 発行価額	新株予約権1個につき金363円（総額3,630,000円）
④ 当該発行による潜在株式数	1,000,000株（新株予約権1個につき100株） 下限行使価額においても、潜在株式数は1,000,000株です。 本新株予約権の行使に際して交付する株式において、当社は保有する自己株式（531,912株（2023年12月31日現在））を活用する予定です。
⑤ 資金調達額（差引手取概算額）	693,630,000円（注）
⑥ 行使価額及び行使価額の修正条件	当初行使価額700円 上限行使価額はありません。 下限行使価額565円 本新株予約権の行使価額は、割当日の翌取引日以降、本新株予約権の各行使請求の通知が行われた日の直前取引日の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値とする。）の90%に相当する金額の0.1円未満の端数を切り上げた金額に修正されます。ただし、修正後の価額が下限行使価額を下回る場合となる場合には、下限行使価額を修正後の行使価額とします。
⑦ 募集又は割当方法（割当先）	野村證券株式会社（以下「割当先」という。）に対する第三者割当方式
⑧ 本新株予約権の行使期間	2024年2月7日から2027年2月5日までの期間とする。ただし、当社普通株式に係る株主確定日、その前営業日及び前々営業日（株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という。）の休業日等でない日をいう。）並びに機構が必要であると認めた日については、行使請求をすることができないものとする。
⑨ 本新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金及び資本準備金	本新株予約権の行使により株式を発行する場合の増加する資本金の額は、会社計算規則第17条の定めるところに従って算出された資本金等増加限度額に0.5を乗じた金額とし、計算の結果1円未満の端数を生ずる場合は、その端数を切り上げるものとする。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とする。
⑩ その他	本新株予約権の買取契約において以下の内容等が定められております。 ・当社は、割当先に対して本新株予約権を行使すべき旨及び行使すべき本新株予約権の数を指定することができること。 ・当社は、割当先が本新株予約権の全部又は一部につき、行使することができない期間を指定することができること。 ・割当先は、一定の場合に、当社に対して通知することにより、本新株予約権の取得を請求することができ、かかる請求がなされた場合、当社は、本新株予約権の発行要項に従い、本新株予約権を取得すること。 ・割当先は、当社取締役会の決議による当社の承認を得ることなく本新株予約権を譲渡しないこと。

(注) 資金調達額は、本新株予約権の払込金額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権に係る発行諸費用の概算額を差し引いた金額であります。なお、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額は、当初の行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額であります。実際の資金調達額は行使価額の水準により増加又は減少します。また、本新株予約権の行使期間内に全部又は一部の行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には資金調達額は減少します。

## 2. 資金の使途

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 産業機械事業の更なる成長を目的とした新製品の研究開発と新たな成長市場開拓への投資	360	2024年2月～2027年2月
② 設計・製造プロセスの効率化及び生産体制強化のための設備投資	230	2024年2月～2027年2月
③ 人材確保・育成への投資	103	2024年2月～2027年2月
合計	693	-